



# ふれあい 放水路

1995  
(平成7年)  
第20号  
11月



## 神門塚橋が完成

斐伊川放水路事業に伴い、新築及び改築される二十五の橋のトップをきつて、出雲市古志町の神戸川の支川、新宮川に架かる神門塚橋が完成しました。

放水路事業により、神戸川に流れ込む新宮川も堤防の改修が必要となり、出雲市の土地改良事業と合わせて橋の架け替え工事を進めていきました。

新しい神門塚橋は、元の橋と比較すると橋の長さが十五メートルのものが二十一メートルに、幅は四メートルのものが七メートルとなり、高さも今までより三メートル高くなりました。橋の欄干には、まわりの田園風景に合わせ、稲穂がデザインされています。

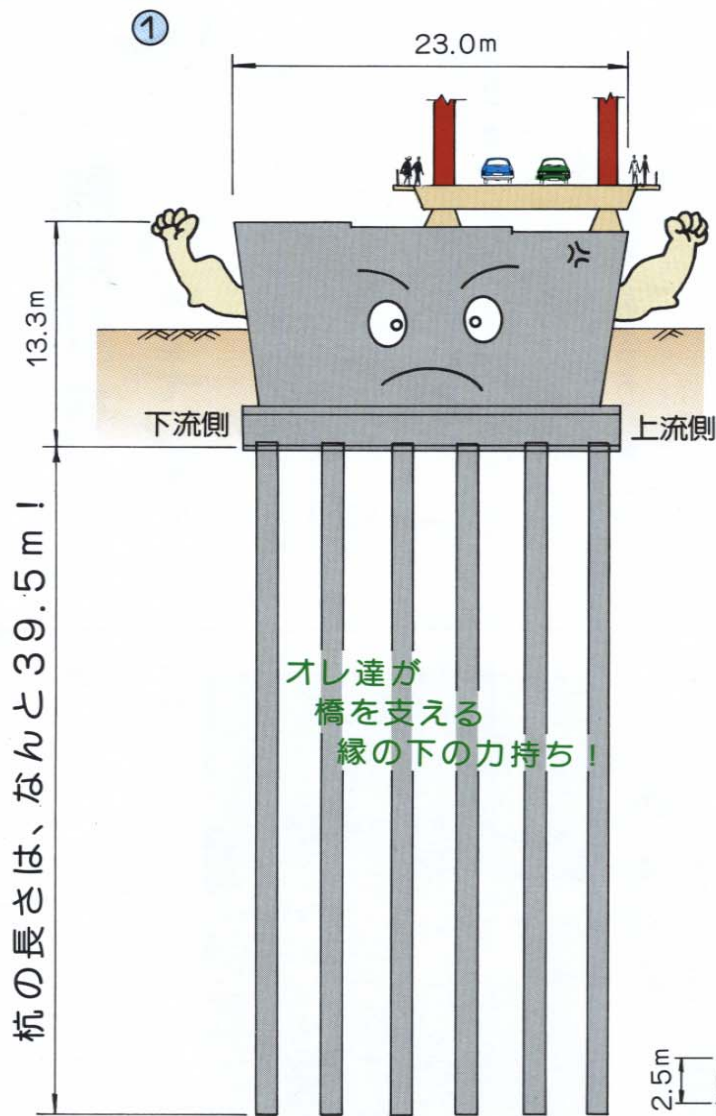
十月四日には、地元の方々や工事関係者約百名の出席のもと、開通式が行われ、テープカットの後、神官を先頭に、古志町の山根寿一さん方三世代夫婦をはじめ、地元のみなさんによる渡り初めをし、橋の開通を祝いました。



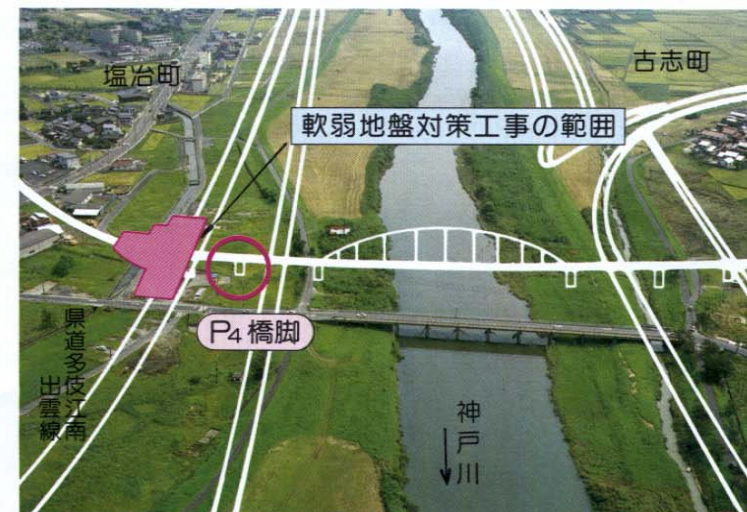
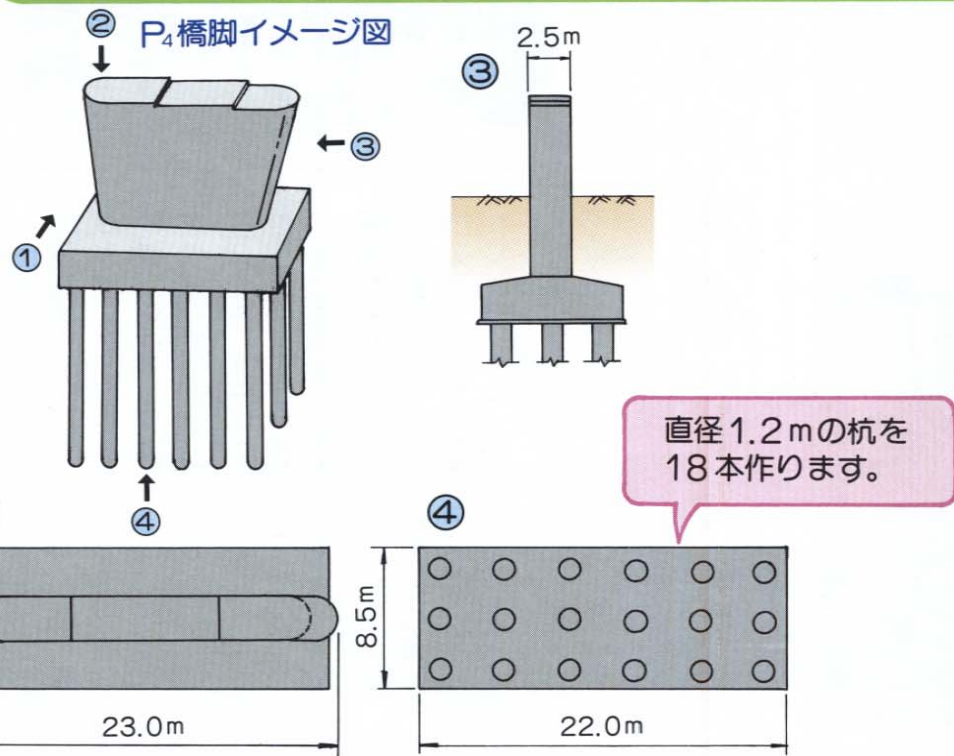
# 古志橋右岸改築工事

## ～軟弱地盤対策工事と橋脚工事～

### P4 橋脚工事は…



今月は、先月号に引き続き古志橋架け替えについて紹介します。  
 今年度古志橋は、P4 橋脚工事と軟弱地盤対策工事を行います。  
 橋脚は、橋の桁を支えるための柱で、P4 という記号は、左岸から4番目の橋脚(ピア：Pier) という意味から付いています。  
 今回の橋脚1基当たりのコンクリート使用量は、約1800㎡で、生コン車に換算すると約400台分に相当します。(この量は基礎杭に使うコンクリートの量も含まれています。)  
 また、軟弱地盤対策工事は、大きな荷重のかかるところや、重要な構造物のある所の地盤沈下や、地震時の液状化を防ぐために行います。



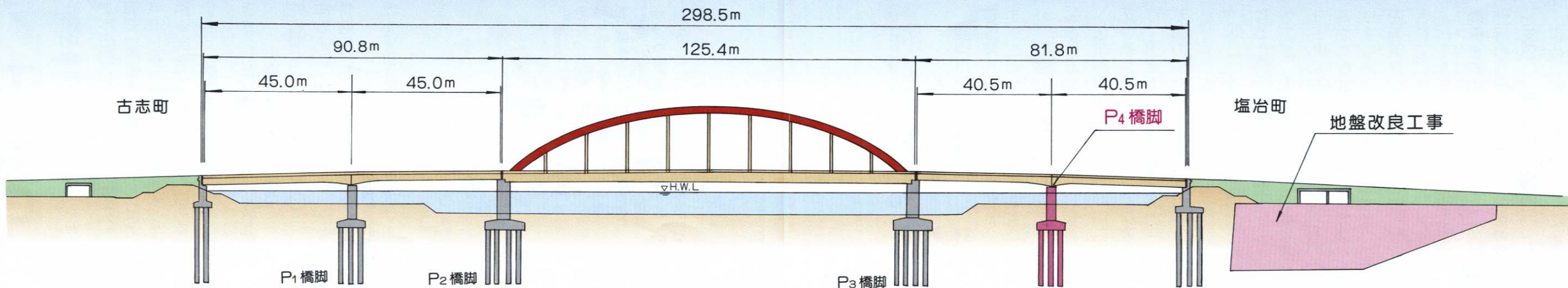
### 軟弱地盤対策工事は…

深層混合処理工法(CDM工法)で行います。



これは、土の中に水で練ったセメントを写真の機械で混ぜながら入れ、軟弱な地盤をセメントで強化し、上に重いものが載っても沈下しないようにする工法です。

地盤改良に使われるセメントは約4200tで、40kg入りのセメント袋で換算すると約10万5千袋になります。  
 ちなみに、セメント袋を積み上げると、富士山の約4倍の高さになります。





ふれあい  
放水路  
通信

開削部を  
ハイキング

十月十五日、秋晴れの空のもと、上塩冶町菅沢地区の約一〇〇人のみなさんが、「菅沢町民ハイキング」で、変わりつつある開削部の山々を見学されました。

遺跡のある所では横穴墓の大きさを確かめてみたり、掘削現場を山の上から見たりなど、実際歩いてみて、放水路工事が進んでいる様子がよく分かったと思います。

地元ということもあり、現場での説明には、みなさん熱心に耳を傾けておられました。



花の谷へようこそ  
〜 頓原町志津見 〜



志津見の谷は、今年も約六〇〇万本のコスモスが咲きそろう、広大なコスモ畑が広がりました。

三瓶山の東側、頓原町の志津見ダム建設予定地内では、将来ダムの湖底となるこの地を花でいっぱいにして、地域活性化につなげようと、建設省、島根県、頓原町が一体となって平成三年から「東三瓶フラワーバレー（花の谷）事業」が進められています。

今回は、奥出雲飯石広域観光推進協議会と合同で、十月十四、十五日の二日間にわたり『奥出雲ふれあいコスモス祭』が開催され、約二万五千人の人出でにぎわいました。

十二月十八日(十月末日)は  
土木の日  
放水路事業など見学してみませんか?

土木の日にちなんで、「土木」の必要性を広く一般の人に理解してもらうために、神戸川上流の志津見ダム事業と斐伊川放水路事業をマイクロバスで回る見学会を行います。現在参加者を募集しています。

●とき 11月18日(土) 13時〜17時

出雲工事事務所集合

●先着30名まで(参加費無料)

●申し込み・問い合わせ

11月13日までに建設省出雲工事事務所

調査設計課まで

☎(0853)21-1850



建設省中国地方建設局  
出雲工事事務所  
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当